

電車、モノレールが見える グリーンウォーク



テーマ 心和む景色
回遊したくなる楽しい通りの景観



選定に当たってのコメント

ゆったりと蛇行した細長い空間が、上品にデザインされた緑・シェルター・ショップなどで調和的にまとめられている。が、時折上空に現れるモノレールがこの魅力の要だろう。これによって景観は既成の調和の域を超えてリアリティを放ち生き生きと脈動する。モノレール高架の橋脚がノイズ感なくおさまられているのも効いている。

その他の評価コメント

- ▶モノレールの軌道施設との融合的な空間が印象的。
- ▶敷地内にモノレールの軌道があり、モノレールが通過する景観やライトアップされた景観がとても印象的。

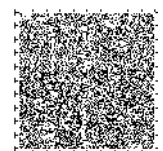
応募者からの推薦コメント

緑の遊歩道が涼しげで、特に夜景が、モノレールと相まって際立っていて、新たな夜の散歩コースに。

応募者:丸山 孝典(区内在住)

緑の多い新しい長い道です。新幹線、JRの電車、モノレールが見える楽しい道です。

応募者:岡崎 純子(区内在住)



東京タワーのまもりびと

テーマ 心とむ景色



選定に当たってのコメント

芝公園から東京タワーが聳え立つのを見るのはいつものことだが、タワーの足元に如意輪観音堂がたたずんでいるのを見て、顔が綻んだ。ずっと見守ってくれていたんですね。ここで一緒に過ごす時間が楽しみになりました。

その他の評価コメント

- ▶東京タワーの足元に、隠れ家的な存在な場所に祀られている菩薩像が印象的。
- ▶東京タワーとの組み合わせにより新旧の名所が引き立て合っている。

応募者からの推薦コメント

東京タワーが建つ前からここに祀られていたと聞いております。東京タワーと港区の安全を静かに見守ってくれている、まもりびとのような菩薩様です。

応募者:平野 暁宏(区内在住)

願いを込めて

テーマ 心とむ景色
味わい深い歴史・文化を感じる景観

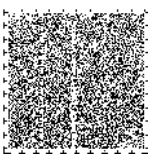


選定に当たってのコメント

愛宕神社といえば、急勾配で知られる「出世の階段」が象徴的な存在である一方、境内は都心とは思えないほどの静けさと豊かな緑が広がっている。歴史と自然が調和したこの場所は、地域にとって貴重な財産である。

その他の評価コメント

- ▶神社境内を対象とした社殿などが作る景観。
- ▶愛宕神社の象徴的な急な石段と赤い鳥居を捉えた景観が、歴史や文化を感じさせる。



応募者からの推薦コメント

建物が綺麗だから。 応募者:安孫子 由佳(区内在住)
人々の願いがこもった絵馬と願いを神様にお伝える場所である本殿、願いを叶える星のようなランプをうつし、願いを叶えようと登ろうとする道を神様が眺めているように撮らせて頂きました。 応募者:山田 歩佳(区内在住・在学)
曲垣平九郎の故事にちなみ呼ばれている出世の石段を1段1段丁寧に上がりながら上を目指すのがとても魅力的です。またこの急な石段を上がった先に見える愛宕神社の雰囲気がとても心地よいです。 応募者:金光 理玖(区内在住)

港区に滝があった！

テーマ 心和む景色



選定に当たってのコメント

日本初のランドスケープデザイナーといわれる長岡安平が、武蔵野台地崖線の地形を活かし、もとの滝をベースに渓谷を築造した。喧騒を忘れて9種類と言われる紅葉に見惚れてしまう。芝公園は魅力溢れるデザインの宝庫。

その他の評価コメント

- ▶紅葉の季節が綺麗。季節によって雰囲気が変化する。
- ▶旧芝離宮恩賜公園がみえて心和む風景。

応募者からの推薦コメント

東京タワーの真下に滝が流れる不可思議な光景は魅力的。東京タワー周辺の撮影スポットは数多く外国人観光客に人気だが、とびきりのスポットになるはずです。

応募者:宮内 正英(区内在住)

穏やかな風の吹くところ

テーマ 心和む景色



選定に当たってのコメント

青山通り沿いの赤坂御用地を正面に眺める立地にありながら、ここは静かで落ち着いた空間である。都会の真ん中に現れた小さな森の足元にはせせらぎが広がる。四季を通して心を穏やかにしてくれる。他人には教えず自分だけのものにしておきたい。

その他の評価コメント

- ▶青山通りに面しているながら静かで落ち着ける場所。
- ▶豊かな緑が印象的。

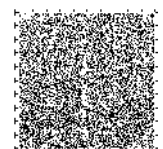
応募者からの推薦コメント

一歩足を踏み入ると、国道246のすぐ脇にあるとは思えないくらい落ち着きを感じる不思議な空間。高橋是清の邸宅跡だからでしょうか。タイムスリップしたかのような非日常感を覚える公園です。

応募者:三島 融(区内在勤)

高橋是清翁記念公園へ生き物探しに行きました。

応募者:匿名(区内在住)



平和の灯

テーマ 心和む景色



選定に当たってのコメント

港区平和都市宣言20周年を記念して芝公園に設置された「平和の灯」。国際情勢が揺らぐ今、東京タワーをはじめとしたスカイラインと重なる視線の軸が、私たちの日常と平和の意味を静かに浮かび上がらせます。

その他の評価コメント

- ▶ たくさんの人に知ってもらいたい場所だと思う。
- ▶ 要素の組み合わせは印象的であり、また発見的である。

応募者からの推薦コメント

港区に暮らして50年になりますが芝公園の「平和の灯」が広島原爆の実際の炎だということは知りませんでした。このことは 港区住民だけではなく、たくさんの人たちに知らせ大切に灯を守りたいと思います。
応募者:工藤 裕美(区内在住)

日比谷通りのグリーンストリート

テーマ 心和む景色



選定に当たってのコメント

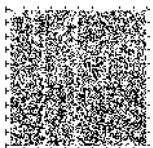
増上寺や芝公園の緑に縁どられた日比谷通り。初夏の新緑から秋の紅葉まで彩りの移ろいが目を楽しませ、豊かな緑量が静けさをもたらす街路空間は、都市の中に息づく自然の時間軸を感じられる貴重な風景です。

その他の評価コメント

- ▶ 街路樹により作られた景観。都市の中で季節を感じる。
- ▶ 豊かなグリーンで暑い夏にも沿って歩ける。

応募者からの推薦コメント

普段は何気なく歩くストリート、新緑の季節になると舗道一面「色とりどりの緑」に囲まれ歓喜する。そして車道の喧騒は樹木に吸収され、グリーンの安らぎを貰える。
応募者:石綿 修一(区内在住)



アジサイロード

テーマ 心和む景色
回遊したくなる楽しい通りの景観



選定に当たってのコメント

通学路に約100メートルにわたって連なるアジサイは、日常の風景に彩りを添え、季節感を豊かに伝えている。今後も地域に根差した季節の風景として、長く愛され続ける場所となることを期待したい。

その他の評価コメント

- ▶ 印象的な景観で、区民からも親しまれている。
- ▶ 沿道をアジサイが埋める景観。

応募者からの推薦コメント

毎年、あじさいがフェンスから顔を出して通勤通学やお散歩の人のところをなごませてくれる風景です。 応募者:梅津 義正(区内在住)
金網の隙間から花を咲かすアジサイが迎えてくれる道です。

応募者:佐々木 了一(区内在住)

大きくて綺麗な紫陽花がたくさん並んでいて、紫陽花の季節にお散歩するのが楽しい場所です。 応募者:齋藤 玲奈(区内在住)

カワセミやオオタカも子育てをする森

テーマ 心和む景色



写真提供：国立科学博物館附属自然教育園

選定に当たってのコメント

武蔵野台地の周縁部に位置する港区には起伏に富んだ地形が作る多様な景観が広がっている。その武蔵野の面影を今も残す自然教育園の森。この魅力を切り取って伝えることは困難です。まして言葉でなど。是非とも訪れてみてください。

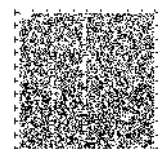
その他の評価コメント

- ▶ 都心にある貴重な緑と生態系がつくる景色。
- ▶ 自然教育園は都内でも他にはない重要な場所。

応募者からの推薦コメント

いわゆる武蔵野の自然を感じることができます。公園の森とは違い、動植物の自然な営みを感じる事ができます。夏にはヒグラシの鳴き声が聴こえます。

応募者:矢野 隆弘(区内在住)





審査委員総評

「心和む景色」の意味を噛み締めて

「心和む景色」というメインテーマにたくさんの応募があった。区民の関心浅からぬ「和む」とはいったいなんだろう。辞書によれば、気持ちが穏やかになる、ほっとする…。これを裏返せば、われわれが日頃どれだけ心を緊張させているかが見えてくる。硬質な素材で固められた空間の中で、時間に追われキリキリと生活することを強いられ、人々は神経質になり、いらいらし、怒りっぽくなる。その救済がほどよい緑に包まれること、祈りの場所に接すること、満開の花々に出会うことなのだろう。ところで、どちらかと言えば硬質な印象のグリーンウォークが「心和む景色」で応募されたのは少し意外だった。巧みな緑の配置故か。それとも「選定に当たってのコメント」中の何かが遠因か。

齋藤 潮

港区景観審議会 会長
東京科学大学 名誉教授

杉山 朗子

港区景観審議会 副会長
株式会社日本カラー
デザイン研究所 研究フェロー

自然、歴史、時代の先端デザインが構築してきた 港区の生活と景観

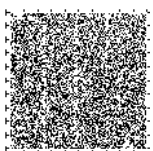
豊かな地形と時代毎のデザイン溢れるまち港区がますます姿を現してきたように感じる。都心でビジネス街の先端と思われがちな港区だが、埋立て以前の海から聳え立つ崖線のある地形や、古代から始まって江戸、東京と変わってきた歴史を彷彿とさせる遺跡や神社や寺院、お洒落な建築が残されている。石垣や生垣、階段にもふっと心引かれる。大通り沿いに豊かな緑地や並木があり、心和む静寂を満喫できる場所があることにも驚かされる。近年はこれまでに増して、地形や街の歴史を活かした計画が進んでいるので、さらに港区の魅力が複層的に高まって行くであろう。地元の方しか知らないような散歩ルートなどは是非幅広く紹介してほしい。

セレクションが愛され続けますように

今回も沢山の区民の「推し」を見せていただきました。自分の生活圏にありながら気づかなかつた素敵な景観、同じ港区ながら滅多に足を運ばないエリアの印象的な眺め。それを絞り込んでいく過程での、個人の思い、行政の行いであるが故の制約、そして各分野のご専門の方々の独自の視点。結果として選ばれた景観が区民にとって納得できるものになるのか、選外となった応募者の方が何を思われるのか、今回は結構重たい仕事になってしまいました。積み重ねられてきた皆さんの「推し」がこれからも永く港区を代表する景観として広く愛されていくことを楽しみにしています。

奥平 浩

港区景観審議会
区民委員



景色の吟味と街づくりの未来

「心とむ景色」という公募テーマのもと、今回も個性豊かな視点の応募が寄せられました。懐古的に受け取られがちなテーマかなとも思いましたが、写真やコメントをつぶさに拝見すると、都市の新旧が混ざり合い、日常生活と重なり合うことで生まれる魅力的な場面が数多く見受けられました。心に自然と受け入れられる景観とは、過去と現在といった異なる時間のいずれかでもなく、対立するものでもなく、巧みに重なり合い、並走する状態のなかに生まれるのだと、あらためて実感します。区民景観セレクションにおける景色の吟味から浮かび上がった一人ひとりの「心の声」が、未来へと続く景観街づくりの継続的なヒントとなることを願っています。

村井 一

港区景観アドバイザー
東京都市大学 准教授
合同会社村井一建築設計 代表

岩男 弘美

港区景観アドバイザー
有限会社GAヤマザキ
シニアディレクター

気づかなかった景観と新しい都市の表情

回を重ねることで同じ景観や視点が重なり、印象が似通ってしまいがちな中、今回は古くからあるのに気づかなかった景観と、新しい都市の景観が同じテーマの中で並び合っている点がとても印象的であった。これは、港区が持つ多彩な景観の豊かさがあってこそ生まれる対比だと思う。歴史の気配を静かに伝える景観から、未来へとつながる新しい景観まで、地域が本来備える特性と可能性が示されていると思う。これから続く変化の中でも、守りたい景観をあらためて見つめ直す機会となしてほしい。

〈景観に関する港区ウェブサイト〉



みどりの街づくり賞
に関する情報



区民景観セレクション
に関する情報



景観街づくり賞
に関する情報



区民景観セレクション
受賞景観ショートムービー

「港区景観街づくり賞」

〈港区景観アドバイザー ※敬称略〉
予備選定をしていただきました。

若松美津子 片岡 照博 村井 一
岩男 弘美 藤井 亮介 加藤 幸枝

「港区区民景観セレクション」

〈港区景観審議会委員 ※敬称略〉
募集テーマの決定と予備選定をしていただきました。

齋藤 潮 杉山 朗子 長谷 高史
矢口 哲也 山崎 誠子 渡邊 大志
奥平 浩 根岸 晴美 藤井 恵介

